



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社 トラスト・テック
コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 穰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村井 範之

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	31,162	39.7	2,167	20.2	2,138	19.1	1,277	18.0
28年6月期第3四半期	22,308	47.3	1,803	70.5	1,795	66.4	1,082	59.4

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 1,429百万円 (32.3%) 28年6月期第3四半期 1,080百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	65.89	65.71
28年6月期第3四半期	56.07	55.67

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	15,938	6,074	37.5
28年6月期	11,914	5,322	44.6

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 5,977百万円 28年6月期 5,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		30.00		25.00	
29年6月期		15.00			
29年6月期(予想)				30.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年6月期の第2四半期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合、平成28年6月期の年間配当金は40円00銭となります。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	39.3	3,120	22.4	3,100	22.6	1,870	22.7	96.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	19,413,000 株	28年6月期	19,353,000 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	482 株	28年6月期	390 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	19,397,119 株	28年6月期3Q	19,308,166 株

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、世界経済の先行きや政治情勢の不透明さが懸念されるものの、国内においては産業用機械・電子部品・デバイスなどの生産や、個人消費が堅調に推移するなど、全体として緩やかな景気回復基調で推移しました。

国内の雇用情勢については、有効求人倍率が四半世紀ぶりの高水準で推移するなど、前連結会計年度から引き続き企業の人材需要は底堅く、人材サービス業界に対する需要も増加傾向で推移しました。

こうした環境の中、当社グループは製造業からの人材サービスに対するニーズを捉え、積極的かつ継続的に人材の採用と配属に努めました。また、平成28年8月に英国の人材派遣会社MTrec Limitedを、平成29年3月にIT・ソフト領域で事業を展開する株式会社フュージョンアイを子会社化するなど、グループの中期成長戦略に基づく事業拡大・基盤の確立を推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は31,162百万円（前年同期比39.7%増）、営業利益は2,167百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は2,138百万円（前年同期比19.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,277百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

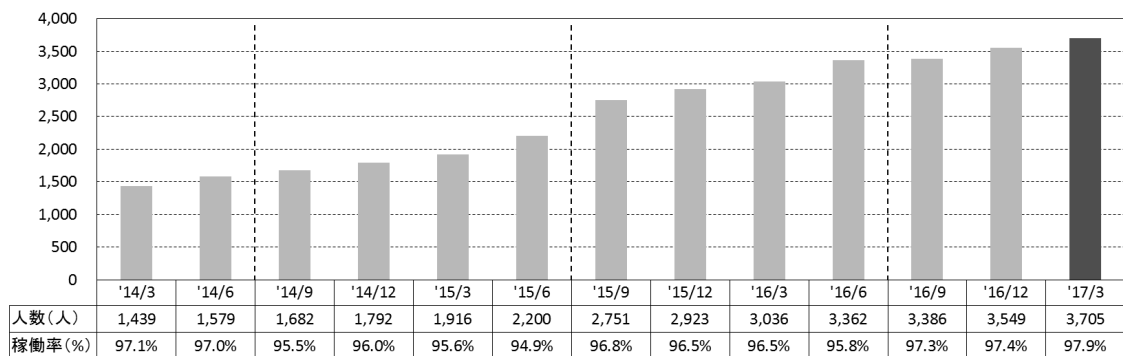
なおMTrec Limitedの子会社化に伴う業容拡大と事業の重要度の変化を踏まえ、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「技術系領域」、「製造系領域」の2区分に「海外領域」を追加し、3区分へ変更しております。これに伴い、従来「技術系領域」に含めておりました香港虎斯科技有限公司を「海外領域」に変更しております。また、セグメント利益を従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。以下の前年同四半期比較については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（技術系領域：株式会社トラスト・テック、株式会社フリーダム等）

当セグメントは、顧客企業の研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、当セグメントで比重の高い輸送用機器、電気機器、機械などの業種に加え、注力分野であるIT領域で社員配属数が伸長しました。また、平成29年3月に子会社化した株式会社フュージョンアイは、当第3四半期連結累計期間では売上に寄与していませんが、子会社化に伴うM&A一時費用が発生しております。その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は19,158百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は1,987百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

なお、平成29年3月末時点の当セグメントに従事する社員数（株式会社フュージョンアイは含まず。）は、前四半期末から156名増加、前期末からは通算で343名増加の3,705名となりました。



(注) 1 人数：月末技術者数

2 稼働率：月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

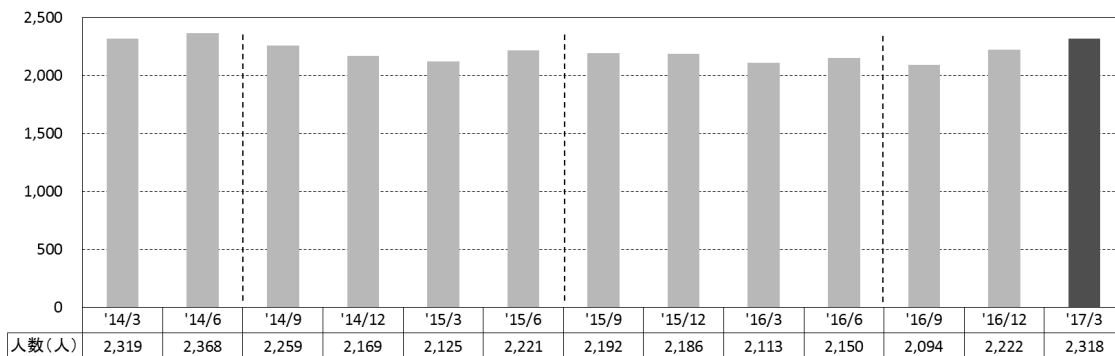
3 平成29年3月30日付で子会社化した株式会社フュージョンアイの技術者は含んでおりません。

（製造系領域：株式会社T T M）

当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、業種別では輸送用機器及び電気機器からの受注が拡大し、また案件毎の利益確保や地元密着型営業による人員効率の改善など、前期から注力していた利益体質の強化が進捗し、セグメント利益率は向上しました。その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は6,575百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は291百万円（前年同期比59.8%増）となりました。

なお、平成29年3月末時点の当セグメントに従事する社員数は、前四半期末から96名増加、前期末からは通算で168名増加の2,318名となりました。



(注) 1 人数：月末技能社員数

2 当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

(海外領域：MTrec Limited等)

当セグメントは、日本国外における技術・製造分野に対する派遣・請負や、有料職業紹介などの人材サービス事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、平成28年8月に子会社化した英国の人材派遣会社MTrec Limitedの業績が順調に推移する一方、M&Aに伴うアドバイザー費用等の一時費用や、のれんの償却費用を計上しております。その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は5,455百万円（前年同期は売上高95百万円）、セグメント損失は83百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。なお、M&Aの一時費用を除いた場合、セグメント利益は118百万円となります。

(その他)

報告セグメントに含まれない領域として、障がい者雇用を推進しており、主にグループ間でのフラワーアレンジメント制作物の納品や梱包軽作業などを行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は43百万円（前年同期比61.9%増）、セグメント損失は58百万円（前年同期はセグメント損失50百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4,024百万円増加（33.8%増）し、15,938百万円となりました。主たる変動項目は、平成28年8月にMTrec Limitedを、平成29年3月に株式会社フュージョンアイを連結子会社化したことなどによるのれんの増加1,811百万円のほか、流動資産の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて3,271百万円増加（49.6%増）し、9,863百万円となりました。MTrec Limitedと株式会社フュージョンアイの連結子会社化に伴い借入金は増加し、社債発行により既存借入金の一部返済を行いました。これによる主たる変動項目は、借入金の増加1,239百万円（うち、1年以内返済39百万円）及び社債の増加1,302百万円（うち、1年以内償還196百万円）であり、他の変動項目では賞与引当金の増加778百万円などです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて752百万円増加（14.1%増）し、6,074百万円となりました。主たる変動項目は、利益剰余金であり、親会社株主に帰属する四半期純利益金額の計上による増加1,277百万円、配当の支払による減少775百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月5日に公表しました業績予想の修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,930,496	3,968,552
受取手形及び売掛金	4,060,115	5,901,519
その他	993,488	1,083,116
流動資産合計	8,984,101	10,953,188
固定資産		
有形固定資産	256,198	424,058
無形固定資産		
のれん	2,006,108	3,817,488
その他	196,553	189,288
無形固定資産合計	2,202,661	4,006,776
投資その他の資産	471,039	554,062
固定資産合計	2,929,899	4,984,897
資産合計	11,914,000	15,938,085
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,900,000	1,639,227
1年内償還予定の社債	-	196,000
1年内返済予定の長期借入金	-	300,000
未払費用	2,394,623	1,967,023
未払法人税等	638,511	413,014
未払消費税等	644,290	599,460
賞与引当金	397,992	1,176,032
その他	556,082	1,119,372
流動負債合計	6,531,500	7,410,130
固定負債		
社債	-	1,106,000
長期借入金	-	1,200,000
退職給付に係る負債	35,786	45,346
その他	24,280	101,713
固定負債合計	60,067	2,453,060
負債合計	6,591,568	9,863,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,690	1,550,690
資本剰余金	696,175	708,175
利益剰余金	3,089,478	3,592,468
自己株式	△397	△548
株主資本合計	5,323,946	5,850,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327	168
為替換算調整勘定	△5,613	126,587
その他の包括利益累計額合計	△5,940	126,755
新株予約権	4,427	4,237
非支配株主持分	-	93,117
純資産合計	5,322,432	6,074,894
負債純資産合計	11,914,000	15,938,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	22,308,857	31,162,726
売上原価	16,972,586	24,408,204
売上総利益	5,336,271	6,754,522
販売費及び一般管理費	3,533,130	4,587,455
営業利益	1,803,140	2,167,066
営業外収益		
受取利息	728	233
助成金収入	6,926	15,004
その他	3,609	1,732
営業外収益合計	11,264	16,970
営業外費用		
支払利息	11,746	18,128
社債発行費	-	20,083
為替差損	7,315	2,625
持分法による投資損失	-	4,529
その他	-	207
営業外費用合計	19,062	45,575
経常利益	1,795,342	2,138,461
特別利益		
固定資産売却益	22,486	179
新株予約権戻入益	-	190
特別利益合計	22,486	369
特別損失		
固定資産除却損	470	6,033
特別損失合計	470	6,033
税金等調整前四半期純利益	1,817,358	2,132,797
法人税、住民税及び事業税	837,260	816,858
法人税等調整額	△102,606	10,767
法人税等合計	734,654	827,625
四半期純利益	1,082,704	1,305,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	27,179
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,082,704	1,277,993

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	1,082,704	1,305,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△246	495
為替換算調整勘定	△1,836	122,940
持分法適用会社に対する持分相当額	-	835
その他の包括利益合計	△2,082	124,270
四半期包括利益	1,080,621	1,429,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,080,621	1,410,689
非支配株主に係る四半期包括利益	-	18,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、MTrec Limitedの株式を取得したため、同社子会社MTrec Care Limitedを含めた2社を連結の範囲に含めております。第2四半期連結会計期間より、PT. TRUST TECH ENGINEERING SERVICE INDONESIAを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社フュージョンアイの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成29年3月31日としているため、当第3四半期連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,037,342	6,161,472	91,019	22,289,834	19,023	22,308,857	-	22,308,857
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	362	4,034	4,396	7,942	12,338	△12,338	-
計	16,037,342	6,161,834	95,054	22,294,231	26,965	22,321,196	△12,338	22,308,857
セグメント利益又は 損失(△)	1,615,186	182,646	△7,431	1,790,401	△50,275	1,740,125	63,015	1,803,140

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,158,450	6,549,967	5,448,882	31,157,299	5,426	31,162,726	-	31,162,726
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	25,575	7,029	32,604	38,234	70,839	△70,839	-
計	19,158,450	6,575,542	5,455,912	31,189,904	43,660	31,233,565	△70,839	31,162,726
セグメント利益又は 損失(△)	1,987,423	291,787	△83,813	2,195,397	△58,031	2,137,366	29,700	2,167,066

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、MTrec Limitedの子会社化に伴う業容拡大と事業の重要度の変化を踏まえ、報告セグメントを従来の「技術系領域」、「製造系領域」の2区分に「海外領域」を追加し、3区分へ変更しております。これに伴い、従来「技術系領域」に含めておりました香港虎斯科技有限公司を「海外領域」に変更しております。また、セグメント利益を従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、「技術系領域」でのれんが862,376千円増加しております。これは、株式会社フュージョンアイの株式取得による増加であります。